

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策2 市町村との更なる連携による行政の推進
---------	---------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

次長 山崎 祥

電話番号

22-6706

事務事業の名称	石見・隠岐地域振興施策への支援	
目的	(1) 対象	石見・隠岐地域市町村・各種団体等
	(2) 意図	対象市町村・各種団体等が計画した、石見・隠岐地域の振興に資する事業について、より大きな事業効果が生まれるように支援を行う。
事業概要	石見・隠岐地域の活性化のため、市町村等が行う地域振興策の実施に向けて、県庁内部の調整や石見・隠岐地域施策推進費を交付することにより支援する。 【事業イメージ】 地理的条件（石見隠岐地域は本庁から遠距離） → 各市町村と意見交換実施 → 関係部局に課題等を伝え調整 → うち予算措置が必要なものについては、関係部局で対応を検討、その結果、各部局で対応できず緊急且つ必要な事業は石見隠岐地域施策推進費で支援 → 石見隠岐地域の活性化に寄与	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	支援事業実施件数	目標値		3.0	5.0	5.0	5.0	件
	式・定義	石見・隠岐地域施策推進費実施事業	取組目標値						
			実績値	7.0	7.0	14.0			
			達成率	-	233.4	280.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	10,142	15,000
うち一般財源 (千円)	10,142	15,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

■地理的条件

石見隠岐地域は本庁から遠距離にあり、市町村等が県と協議するのに相当の時間と労力を要し、また、地域の生の声の本庁に伝わりにくい面がある。

■地域間格差

石見隠岐地域は出雲地域と比べ人口が少なく、また人口減少率も高くなっている。産業や観光振興、社会基盤整備や医療面など各分野においても、石見隠岐地域は出雲地域と比べ遅れている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

■地理的条件

各市町村や関係団体等との意見交換等（※）を通じ、必要に応じ関係部局に伝え、調整を行った（課題等が解消されたものも含む）。

※各市町村や関係団体等との意見交換等
 ・各市町村長との意見交換会（H28.10～）
 ・市町村、関係団体等の重点要望（継続）
 ・地方機関長会議（継続）

■地域間格差

石見・隠岐地域施策推進費について、石見地域9件、隠岐地域5件を交付し、石見・隠岐地域の活性化に寄与した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

■地理的条件

石見隠岐地域は本庁から遠距離にあり、市町村等が県と協議するのに相当の時間と労力を要し、また、地域の生の声の本庁に伝わりにくい面がある。

■地域間格差

石見隠岐地域は出雲地域と比べ人口が少なく、また人口減少率も高くなっている。産業や観光振興、社会基盤整備や医療面など各分野においても、石見隠岐地域は出雲地域と比べ遅れている。

②困っている状況が発生している「原因」

地理的条件は変わらず、また、地域間格差は短期間には解消しない

③原因を解消するための「課題」

市町村の現状や課題を的確かつタイムリーに把握するための環境づくりや、より効果的な事業につながるような支援を継続して行う必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

■地理的条件

各市町村長とのより率直な意見交換会など、市町村との関係を一層密にして、引き続き石見隠岐地域の現状や課題をより的確に把握していく。

■地域間格差

市町村・各種団体等が計画した、石見・隠岐地域の振興に資する事業について、より大きな事業効果が生まれるよう引き続き支援を行う。